



TATSUTA
CORPORATE PROFILE

伝えたい、送りたい、目指したい、未来へ

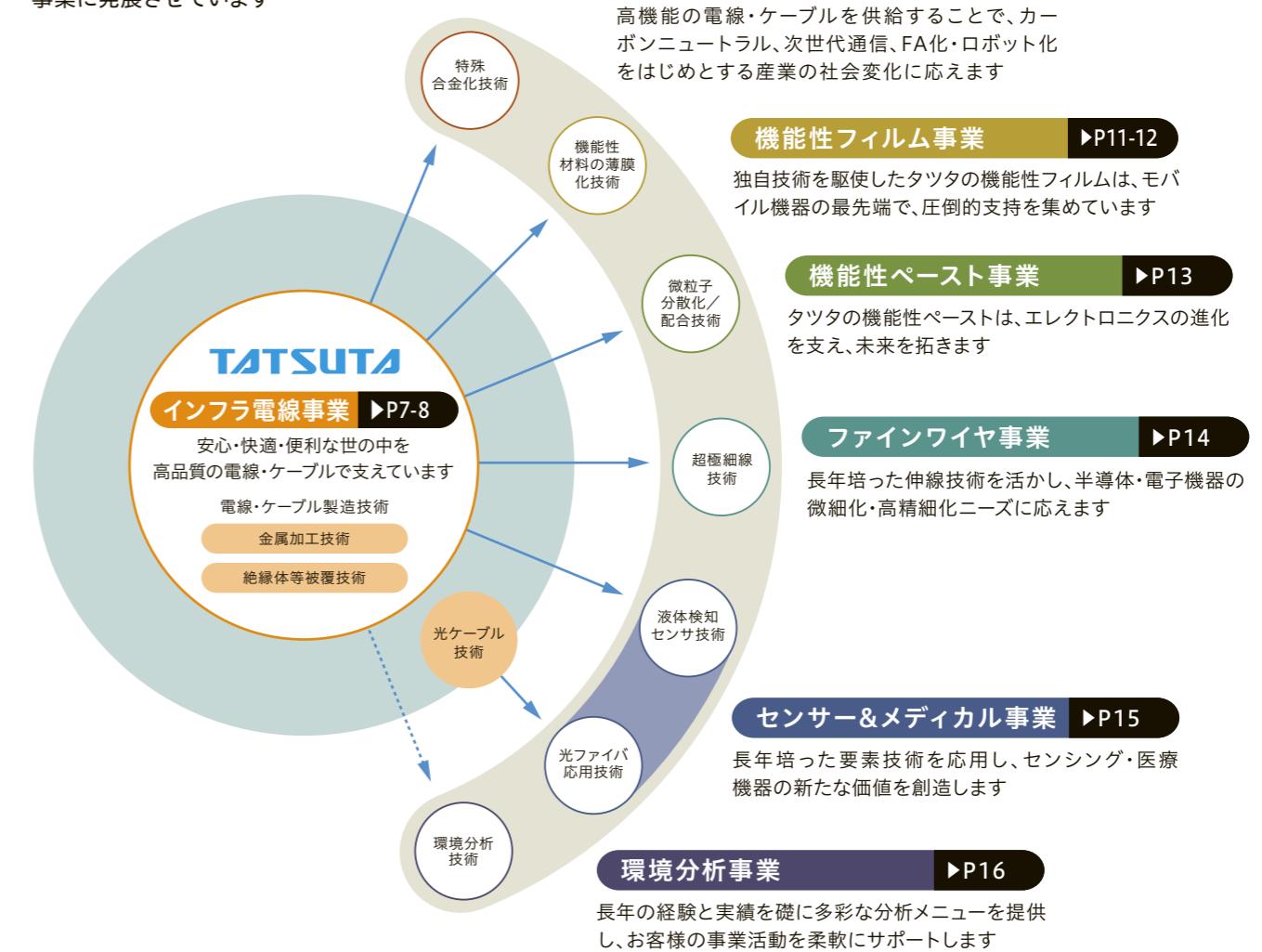
伝えたい、送りたい、 目指したい、未来へ

独創の技術でインフラを支え、最先端を創る、タツタ電線グループ

当社は、電線・ケーブル製造で培った独自技術を応用・高度化させ、エレクトロニクスの進展といった社会的要請に応えるべく、新たな事業領域を開拓してきました。数多くの独創的な先端領域製品のトップシェアサプライヤーとなり、社会に豊かな未来をもたらす事業を今後も展開してまいります。

タツタ電線の事業領域

電線・ケーブル製造で培った技術を多様な製品、事業に発展させています



伝えたい、送りたい、目指したい、未来へ

タツタ電線は、1947年の創業以来、生活に不可欠な電力供給や発電プラントに用いられるインフラ用電線、太陽光発電システムや鉄道関連、FA・ロボット等で用いられる産業機器用電線の製造・販売により社会の発展に貢献しつつ、弛まぬ技術開発で培った導電性金属や絶縁性樹脂に関わるコア技術の融合により、高機能電子材料、漏液センサー、環境分析、医療機器部材へと事業領域を拡大してまいりました。

社会に役立つ製品・サービスの提供を通じて社会の持続的成長に貢献することは当社の経営理念であり、社会やお客様のニーズに徹底してお応えする先端技術・製品開発志向の文化は、連綿と受け継がれてきた精神でもあります。

急速に変化する社会環境において、ますますニーズが高まる再生可能エネルギー、次世代通信、IoT、ロボット、車載、医療関連分野を中心として、独自の技術開発はもとより、差別化技術を有する企業や大学とのコラボレーション、社内新規事業提案制度「T-Challenge Program」の活性化推進など、多角的なアプローチで新たな価値の創出に取り組んでおります。

また、企業行動規範に基づき、地球環境の保全は経営の基本であるとの認識のもと、事業活動のあらゆる面において省資源・省エネルギー・リサイクル、創エネルギーを推進することにより環境負荷の低減に努めています。

今後も技術開発型企業として、新たな事業領域に挑戦し、積極果敢な変革を続けることで持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役　社長執行役員　森元 昌平



経営理念

電線・ケーブル事業及び電子材料事業をコア事業とし、次代を担う事業の開発にも継続的かつ積極的に取り組み、活力・スピード感に溢れ、公正かつ透明性の高い連結経営を推進することにより、持続的に成長し、中長期的な企業価値を向上させるとともに、地球環境問題に配慮しつつ、顧客ニーズにマッチした特長ある商品・サービスを提供することにより、持続的な社会の発展に貢献する。

2025長期ビジョン

定性的な目指す姿

電線・電子材料関連のフロンティアを開拓し、ニッチトップのサプライヤーとなり、独創的な先端部品・素材を供給する。

定量的な目指す姿

高い収益率を維持しつつ、現状の1桁上の規模(2025年度売上高1,000億円、営業利益100億円)を併せ持つ企業集団となる。

品質・環境方針

1. 経営理念を達成するために企業行動規範に則り、事業プロセスの改善、製品及びサービスの向上、環境保全の推進に対して継続的かつ適切に取り組みます。
2. ISO規格要求事項に基づいた品質・環境マネジメントシステムを構築、運用することで、適用される法令や顧客要求事項を守ります。
3. 当社は、取り組む必要のあるリスクを抽出し、それに対応することで、品質向上、汚染の予防、環境保護に取り組みます。
4. 品質・環境マネジメントシステムを維持し、そのパフォーマンスを向上させるために、PDCAのサイクルにより継続的改善を進めます。

要素技術

要素技術を多彩に展開

電線・電子材料関連のフロンティアを開拓するタツタ電線グループ



電線・ケーブル製造技術

創業以来、電線の一貫生産体制を持つメーカーとして、導体となる金属の加工技術や絶縁体・シースに使用される様々な被覆材料の開発技術を深化。



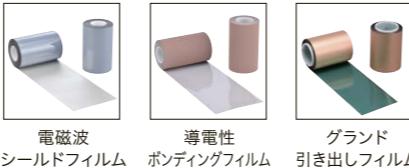
特殊合金化技術

ハードな使用環境でも切れない高耐久性を発揮する特殊合金や、柔軟性・耐久性に優れた被覆材料を開発。また、機器に応じたケーブル端末の成型加工やコネクタの取り付け等の端末加工技術も保持。



機能性材料の薄膜化技術(フィルム)

樹脂、金属フィラー、配合、フィルム化等の技術を複合させ、わずか数 μm の厚さに多数の機能を集約。圧倒的な市場実績を保持。



微粒子分散化/配合技術(機能性ペースト)

電線づくりで培ったポリマー配合技術と各種金属の融合による独自の機能性ペースト。環境に優しいプリントエレクトロニクスの新市場を開拓。



超極細線技術(ボンディングワイヤ)

銅の伸線で培った超極細線技術と合金化技術により、金線・銀線・銅線のあらゆる品種のワイヤを実現。用途に合わせてカスタマイズも可能。



液体検知センサ技術(センサ関連)

編組加工技術を用いて高信頼性の液体検知センサを開発。重要な資産を水の脅威から守ります。要素技術を活用したセンサ開発により、サーバー機への内蔵等新たな分野に進出。



光ファイバ応用技術(フォトエレクトロニクス)

光ファイバデバイスに関する豊富な知識と経験を活かし、日々進化する医療・計測分野に貢献。光ファイバデバイス製造技術と測定技術により、お客様の要求に合わせてカスタマイズ。



環境分析技術(株)タツタ環境分析センター

水質・大気・土壤分析等の様々な分析技術を蓄積、さらに分析の迅速化、高精度化へ技術拡大。



インフラ電線事業

長年培った技術をもとに、発電所やプラントで使用されるインフラ向けの電線・ケーブルを製造し、電力の安定供給に貢献。顧客ニーズに応じて、アルミ電線も供給しています。



p7-8

産業機器電線事業

鉄道やFA・ロボット、音響や放送等…ありとあらゆる産業機器に対応するオリジナル製品の開発に注力。現場のニーズに総合力でお応えします。



p9-10

機能性フィルム事業

高速伝送化が進む携帯端末市場において、電磁波シールドフィルムの幅広いラインアップ、グローバルなクリックデリバリーフィルムで確かな信頼を構築しています。



p11-12

機能性ペースト事業

独自の分散化・配合技術で、新たな特性と機能を付加したペーストを開発し、電子材料の高密度・高機能化に貢献。半導体積層や電磁波シールド用途等新分野の市場を開拓し、エレクトロニクスの進化を支えます。



p13

ファインワイヤ事業

今後ますます多様化し、細分化が進むと思われるボンディングワイヤ市場。そのニーズに応え、多品種の極細線を厳しい品質管理下で量産。あらゆる顧客への対応力により、市場での存在感を發揮し続けます。



p14

センサー&メディカル事業

光ファイバ・導電材・樹脂に関する要素技術を用いたセンシング技術、医療機器部材製品で安心安全な未来を創造します。



p15

環境分析事業

環境中、製品・材料中の有害物質等の分析から汚染調査・浄化、環境改善支援に至るまで、幅広いサービスで環境分析事業を開拓しています。



p16



安心・快適・便利な世の中を
高品質の電線・ケーブルで支えています。

インフラ電線事業

電線・ケーブルの開発・製造販売に長年携わってきたタツタ電線には、品質に対する揺るぎない自信、確かな技術、ノウハウがあります。より安全に、より確実に電力を供給するため、電線・ケーブルの品質・機能性を追求しています。

地球環境への配慮が求められる中、再生可能エネルギーを利用する発電所にも電線・ケーブルを供給。持続可能な社会の実現に貢献しています。また、銅架空配電線からの置き換えが進むアルミ架空配電線も製造し、お客様の要望にあった電線・ケーブルを供給しています。

施工性を向上させた低摩擦ケーブルや、被災時の早期復旧、配線作業効率化に貢献するバーコード印字ケーブル等、ニーズにお応えするオリジナル商品の開発も行っています。

安心・安全なインフラを支える品質保証体制

全ての工程異常情報を品質保証部に集約し、品質の基本となる標準を自律的に改善していく仕組みを確立し実行。これを繰り返すことで、標準の有効性確認、管理項目の見直しを行い、レベルアップを図っています。これらの活動により、各職場での標準は常に改善され、着実に品質向上につながっています。

先進機器導入による検査、データ管理

電線・ケーブル製造では、生産ラインの主要条件(温度、圧力、回転数等)をデータで管理する「操業状態の監視・管理システム」を逐次導入しており、操業状態の変化や異常発生の有無を常時監視することで、徹底した品質管理を実施しています。また、測定器を用いた人による検査に加え、自動測定器による正確な検査も実施しています。例えば、構造検査では「画像寸法測定器」を用い、出来上がったその場でスピーディーかつ、誤差の無い正確な検査を実施しています。

完成品検査

構造試験、耐電圧試験など、仕様書に基づいた検査を品質検査資格保有者が確実に実施し、品質をチェックしています。

工程管理

異常品の流出を防止するため、工程内で異常が発生した場合、品質保証部が品質確認を行うとともに、異常内容と適切な処置を記録する工程異常管理システムを運用しています。

品質改善とお客様満足(CS)の向上

お客様からのクレーム、不具合については品質保証部が中心となり、不具合の要因を徹底的に調査。真の原因を見つけ出すことで、適切な再発防止策を立案し実施しています。また、再発防止策の有効性も定期的に確認し再発を防いでいます。

社会の基盤を支える信頼の高品質製品

電線・ケーブルの専門企業として、長年にわたり信頼を積み重ね、豊かな社会のインフラづくりに貢献。厳しい品質管理のもと、電力会社の原子力発電所・火力発電所向けケーブルをはじめ、架空地中配電用ケーブル・引込用電線等を提供し、電気の安全・安心を支えています。



工場・ビル・マンション等配電用ケーブル

建設用電線ケーブルのリーディングカンパニーである住電HSTケーブル株式会社に設立より参画し、西日本地域の製造及び物流拠点として社会インフラに貢献しています。

低摩擦性能が施工性向上に貢献

低摩擦ケーブル

敷設時の通線張力を当社従来品から最大80%削減。通線潤滑剤の省略・長スパン化・マンホールの削減も可能です。



バーコードを読み取りケーブル系統を判別

バーコード印字ケーブル

ケーブルシース表面に印字されたバーコードを読み取ることで、情報を取得。ケーブル系統を瞬時に判別できます。ケーブル被災時の早期復旧、配線作業効率化に貢献します。レンジスマート、任意の文字列を併記可。



高機能の電線・ケーブルを供給することで、
カーボンニュートラル、次世代通信、
FA化・ロボット化をはじめとする
産業の社会変化に応えます。



産業機器電線事業

当社は社会的要件に応えながら、鉄道、建設、機械等様々な分野に電線・ケーブルを供給。さらに近年では、カーボンニュートラル、次世代通信、FA化・ロボット化等の社会変化に伴い、送配電ネットワーク整備やケーブルの高機能化が求められています。当社は、こうした産業の社会変化によって生じるお客様のニーズにお応えした電線・ケーブルを供給します。

材料開発技術により省コスト化に貢献した「ネツタフ115®」、当社独自開発の高張力合金を活かした「高耐屈曲ロボットケーブル(高力®ケーブル)」、今後自動化や省人化が期待される農業現場での使用に適した「アグリーブル®」、高品質の映像、音響を届ける「放送用ケーブル」、狭所配線のニーズに特化した「かるまげ®」等、様々な分野において時代に合わせた電気の安定供給に大きく貢献しています。

各社技術のシナジーを追求、 多様なニーズに対応

タツタ電線グループは、各社技術の組み合わせでお客様の様々なニーズに対応することが可能です。

■タツタ立井電線株式会社

耐屈曲性に優れたFA・ロボット用、高品質な映像・音声を伝達する放送用他、各種カスタムケーブルの導体設計から製品化までを一貫生産。豊富な実績で高い支持を得ています。

■中国電線工業株式会社

グローバルスタンダードの開発に注力し、世界各地で使用できる海外規格ケーブルをはじめ、使用条件が過酷な場所に最適なケーブルを蓄積した技術で開発・提供しています。

■常州拓自達恰依納電線有限公司

「日本品質を海外で」を実現すべく設立。マルチスタンダードケーブル、ロボットケーブルを現地で製造販売。端末加工も含め一括提供し、海外のお客様ニーズに対応しています。



データセンター等狭所配線に最適

■盤間等狭所配線 かるまげ®(KM-CC)

キュービクル周辺狭所配線等で施工性を重視した非常に曲げやすいケーブル。導体は細線構成を採用し、曲げ半径は4D(仕上がり外径の4倍以上)で盤内配線の省スペース化に寄与しています。



サイズダウンにより省コスト化に貢献

■ネツタフ115®(S)HKIV

導体最高許容温度115°Cの機器内配線用特殊耐熱ビニル絶縁電線。敷設条件によってはサイズダウンが可能ため、省コスト化に貢献。カラーバリエーションも豊富です。



太陽光発電システム用ケーブル

■DC1500V,PV-CQ

電気設備技術基準解釈第46条に適合しており、ハロゲンフリーで環境配慮した製品です。豊富なバリエーションがございます(PV-CQ,CQD,CQT,CQQ)。



■600V,HCV

定格600V以下、定格温度90°Cで使用可能です。

独自の「高張力合金」を導体に採用

■高力®ケーブル

「高張力合金」により、耐屈曲性と強度が飛躍的に向上。FA業界を高度な技術で支えています。固定部に適した「計装ケーブル」も販売。



鮮明な映像とクリアな音声を伝達

■放送用ケーブル

長年蓄積した技術で、高品質な映像用ケーブルや、より明瞭な音声をお伝えする音声用ケーブルを開発。国内外の放送局・各種ホールや劇場・イベント等で使用されています。



世界各国の規格を満たすマルチなケーブル

■マルチスタンダードケーブル

市場のグローバル化に伴い、国内規格はもとより、欧州規格、北米規格、中国規格にも適合した各種用途のケーブルを開発。高品質、高機能な製品は高い評価を得ています。



設計・製造から端末処理加工まで一貫生産

■ケーブル端末加工

コネクタ取り付け等の端末加工や成形加工を施したケーブルを製造。現場敷設の作業短縮に貢献しています。



農業現場の声をカタチにした電線

■アグリーブル®

「あつたら便利」の声に応えた、次世代農業の自動化や省人化をサポートする製品。耐寒、耐熱、耐候性に優れ、軽量化も実現しているため敷設工事が容易で、使用場所も多彩。



※「かるまげ®」、「ネツタフ115®」は日本で登録されたタツタ電線株式会社の商標です。

※「高力®」は、日本とその他の国で登録されたタツタ電線株式会社の商標です。※「アグリーブル®」は、日本で登録された中国電線工業株式会社の商標です。



独自技術を駆使したタツタの機能性フィルムは、モバイル機器の最先端で、圧倒的支持を集めています。

機能性フィルム事業

スマートフォンやタブレット端末等、電子モバイル機器の小型化・軽量化・多機能化が進み、内部回路の保護に欠かせない「シールド技術」へのニーズが急速に高まっています。

当社ではその市場ニーズをいち早くキャッチし、既存のノウハウをベースに開発した導電性ペーストのテクノロジーを応用し、電磁波シールド材のフィルム化に世界で初めて成功。事業コアとなる機能性フィルムを誕生させました。

現在、スマートフォン等に使用されるフレキシブルプリント基板(FPC)用の電磁波シールドフィルムは、世界中で活躍しています。昨今では、5G向け高速伝送用シールドフィルム、フォルダブル用高周波・高屈曲シールドフィルムの採用も拡大しており、更なる付加価値をもった機能性フィルムの開発を進めています。



ISO22301に基づく 「事業継続マネジメントシステム」の認証取得

大規模地震に代表されるような自然災害だけでなく、サプライチェーン途絶、パンデミック、サイバー攻撃も含む情報システム障害のような事象が発生した際も、事業を継続・早期復旧させ、顧客への製品・サービスの影響を最小限にとどめることを目的に、タツタ電線は2016年7月に事業継続マネジメントシステムを構築し、第三者認証を取得しております。



BCMS 653311/ISO 22301

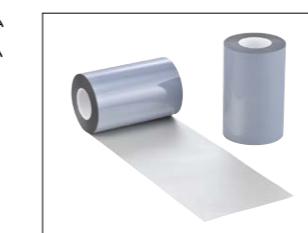
組織名	タツタ電線株式会社 システム・エレクトロニクス事業本部 機能性材料事業部および関連部門
所在地	タツタテクニカルセンター、本社、 京都工場、仙台工場
認証登録範囲	機能性フィルムの製造および販売
認証登録番号	BCMS 653311
適合規格	ISO 22301:2019 JISQ 22301:2020
初回認証登録日	2016年7月25日
更新日	2022年7月25日
認証機関	BSIグループジャパン株式会社

世界品質を誇るタツタのフィルム

機能性フィルム

電磁波ノイズによる電子機器の誤動作を防止するシールドフィルムをはじめ電子基板に機能性を付与できる様々な製品を取り揃えています。

- FPC用電磁波シールドフィルム
- FFC用電磁波シールドフィルム
- グランド引き出しフィルム



FPC用電磁波シールドフィルム

導電性接着剤／粘着剤

電気的に接続が必要な個所に使用される接着剤/粘着剤です。電子回路のグランド強化や電極同士の接続に利用されています。

- 導電性ポンディングフィルム
- 電磁波シールドテープ



導電性ポンディングフィルム

機能性フィルムの月間生産能力150万m²、迅速かつ安定的な供給を実現

機能性フィルムの世界シェア維持に向けて、日本国内3拠点あわせて月産150万m²の生産能力を確保。スマートフォンを中心とした電子モバイル機器のさらなる伸長に向け、迅速かつ安定した供給体制を確保しております。

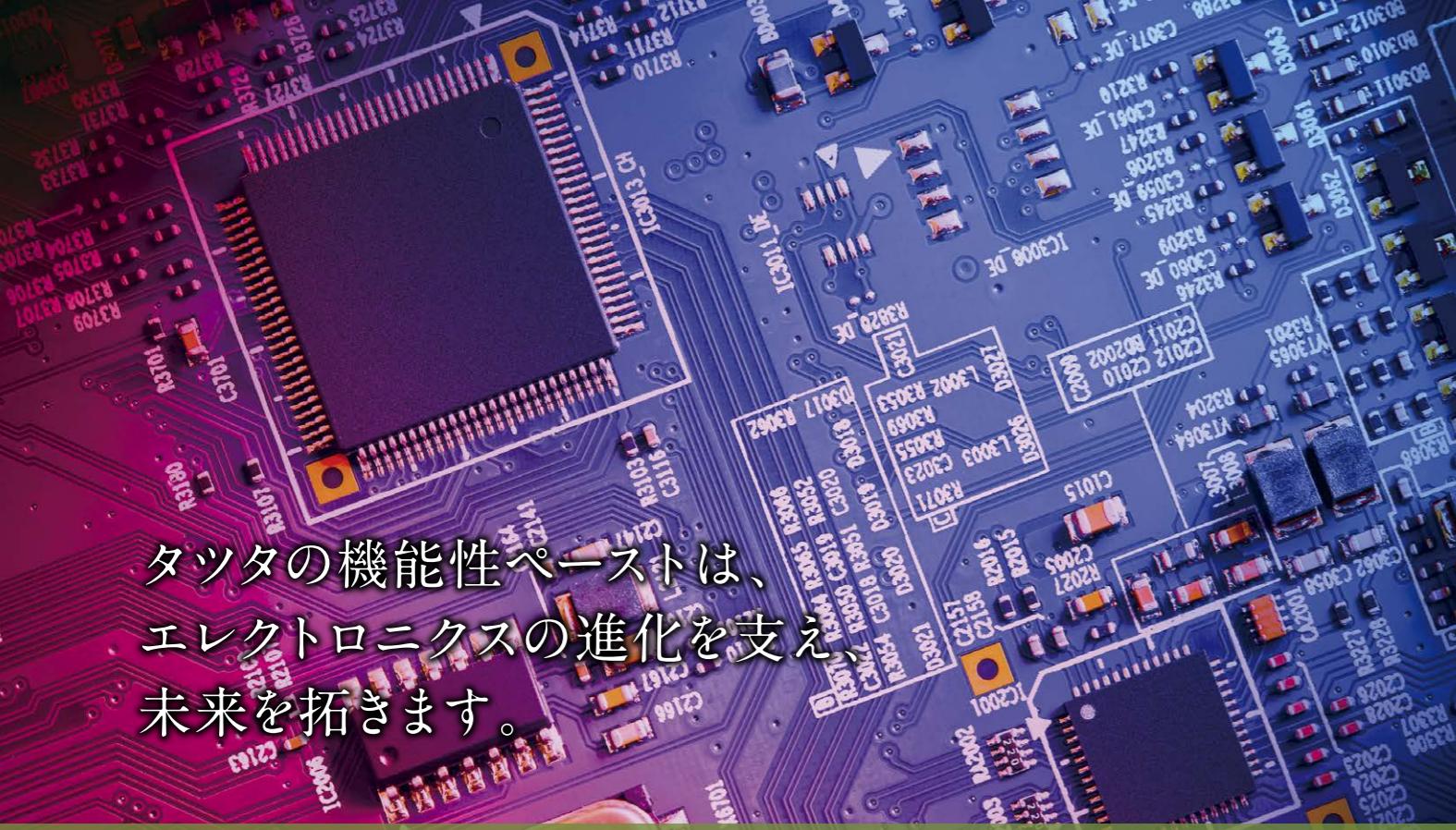


タツタテクニカルセンター「機能性フィルム工場」

独自の品質検査体制を構築。各工程で人の目と機械の目を使ってチェック、出荷時検査も行う等、厳密な品質管理を行っています。



品質検査風景



タツタの機能性ペーストは、エレクトロニクスの進化を支え、未来を拓きます。

機能性ペースト事業

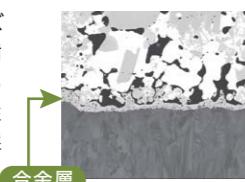
立体に電気や熱を伝える機能性ペーストは、当社の30年以上培った金属と樹脂の配合技術により生み出され、現在、ホームエレクトロニクスをはじめ、高機能化が進むモバイル機器や高信頼性を要求される自動車、航空機等の電子機器に幅広く採用されています。

タツタ電線の機能性ペーストは進化を続ける半導体の積層や電磁波シールド等、従来のスパッタ、めっきやはんだに代わる機能性材料として進化を続けています。

多種多様なペーストを開発し、ニーズに呼応

ビアフィルペースト(金属溶融型)

高い接続信頼性を確保したメタライズペースト。低融点と高融点の金属粉を樹脂に配合し、加熱により金属結合させることにより、振動や熱に耐える高信頼性を発揮。半導体や車載等の用途に広く採用されています。



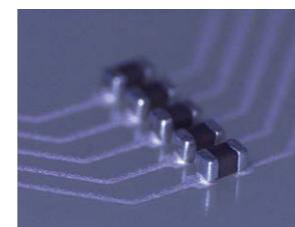
ビアフィルペースト(粉体接触熱硬化型)

表面処理した金属粉を樹脂に配合し、加熱による金属粉体接触により電気導電性・熱伝導性を発揮。無溶剤のため硬化後の未充填等の不具合のリスクがなく、長年にわたり民生用途や車載用途の基板ビア接続に採用されています。



部品実装用ペースト

低温で硬化が可能なためプラスチック等の低コスト基材への部品実装が可能。次工程の高温プロセスではんだのように再溶融しないため3次元実装が容易となります。



配線・電極形成ペースト

低温で熱硬化可能なためプラスチック等の低耐熱基材及び高速伝送用の基材にも高密着。直接はんだ付けが可能なため部品実装用の電極としても利用可能。半導体パッケージにも密着し印刷によるアンテナ形成も可能です。



電磁波シールド用ペースト

半導体パッケージや高多層基板の表面にスクリーン印刷することで電磁波シールド層やグラウンド電極として利用可能。低背化や高密度化する電子機器向けに最適です。



長年培った伸線技術を活かし、半導体・電子機器の微細化・高精細化ニーズに応えます。

ファインワイヤ事業

半導体パッケージを構成する重要部材であるボンディングワイヤ。電線製造で培った伸線技術を活かし、高い信頼性を備えた金・銀・銅線を開発。微細化・高精細化ニーズが進む次世代の半導体パッケージを支えています。

更に当社の高信頼性ワイヤにめっき加工、樹脂コート、撲線等の付加価値を取り入れながら、幅広くエレクトロニクスの発展に寄与できる画期的な新製品・新市場の創出に取り組んでいます。

高純度銀ワイヤの低抵抗化により高速信号処理を実現

Agワイヤ

金ワイヤより低抵抗でありながら高い信頼性を実現した高純度銀ワイヤはメモリを中心に採用が拡大しており、脱金によるコストダウンの実現とともに、高速信号処理が不可欠な次世代の半導体パッケージを支えています。



金ワイヤの更なる高信頼性化を独自の合金設計により実現

Auワイヤ

半導体パッケージの微細化・高精細化は進化し続け、金ワイヤの小径化と共に懸念される電極との接続信頼性の設計課題は増しています。それら課題に対し、弊社独自設計により非常に優れた信頼性特性を持つ2N金合金ワイヤを開発いたしました。今後も時代を先取りした金ワイヤのカスタム設計に積極的に取り組みます。



金ワイヤ同様、ガスフリーでFAB形成が可能

AuコートAgワイヤ

ガスフリーでFAB形成可能な金コート銀ワイヤです。従来保有されている金ワイヤ仕様のボンダー設備をそのまま使用し、FAB形成が可能。4N金ワイヤ比で大幅なコストダウンが可能となります。



世界のパワー半導体を支える 当社強みの6N高純度銅ワイヤ

Cuワイヤ

車載を中心にパワー半導体の高性能化、高信頼性を実現する当社強みの6N高純度銅ワイヤは、世界中の主要な半導体メーカーの支持を受けているロングセラー製品。次世代のパワー半導体を支える材料として今後も多方面より注目されています。



耐腐食性と接合性など作業特性の バランスを備えたパラジウム銅ワイヤ

PdコートCuワイヤ

当社独自の設計により、高い耐腐食性と優れた接合性を備え、金ワイヤからのコストダウンを実現してきました。IC、ディスクリート、パワー半導体等で多方面に渡り採用されています。



長年培った要素技術を応用し、
センシング・医療機器の
新たな価値を創造します。



センサー&メディカル事業

センサー事業（システム、フォト）

独自のセンシング技術、光ファイバ応用技術、樹脂配合・加工技術で、情報化社会、高齢化社会の安心な未来を創造します。

重要な設備を水漏れから守る漏水検知技術、医療・分析等で求められる高精度・高品質光ファイバ応用技術。これらセンシング技術を用いた製品は、近年、ビルや工場だけでなく、IoT、ビッグデータの活用等で注目を浴びるデータセンター等のインフラ、医療業界等様々な業界で採用。保有技術の複合化により、センシングのさらなる可能性を追求していきます。

メディカル事業

培った6つの要素技術を医療機器部材開発に応用。医療業界の発展に寄与します。

電線・ケーブル・機能性材料の開発・製造により長年培ってきた樹脂配合・加工技術、薄膜化、伸線、液体検知、合金化、光ファイバ等の要素技術を「医療機器」に応用。高齢化、在宅医療等大きな変化を迎える社会のニーズと課題に応え、医療業界の発展に寄与するユニークかつ画期的な製品を送り出しています。

システム

漏水検知システム

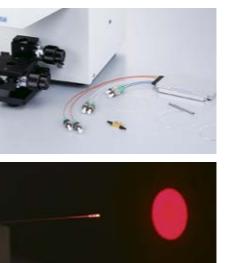
発売以来30年以上にわたり採用されているロングセラー製品。主にビル、データセンターや病院で数多く採用されています。近年、大量データ時代の本格化に伴い、サーバー機器の放熱対策として水冷化が進む中、サーバー組込用途で採用される等用途が広がっています。



フォト

光ファイバデバイスアッセンブリ／光ファイバ加工

光ファイバの応用技術による高品質の光ファイバカプラ、FBG等を製造・販売しています。これら光ファイバデバイスと光路長制御技術で設計した干渉計モジュールは、眼科医療機器や計測機器に採用され、光ファイバ加工はレーザー光を極めて均一かつ効率的に体内へアクセスする技術により、光ファイバプローブ等として医療用途に採用されています。



メディカル

医療機器部材製品

高齢化、在宅医療等により大きな変化が進む医療業界に貢献すべく製品開発を行っています。要素技術の組み合わせを強みとし、素材開発から製品開発まで対応可能です。OEMサプライヤーとして大手医療機器メーカーからの受託開発も展開しています。



長年の経験と実績を礎に
多彩な分析メニューを提供し、
お客様の事業活動を柔軟にサポートします。

環境分析事業 (株)タツタ環境分析センター

信頼性の高い分析を迅速に実施

ダイオキシン類分析

極めて毒性の強いダイオキシン類の分析には、高度な極微量分析技術と高品質を担保する精度管理システムが要求されます。当社では最新の設備と技術を導入し能力向上を図り、最短2日の分析を実現しています。



土壤汚染の調査から浄化までワンストップ対応

土壤調査・分析

土壤汚染調査とは、工場など事業所の地面に浸透した特定有害物質による土壤汚染の状況を把握することです。当社では土壤汚染対策法に基づく土壤汚染調査において地歴調査、土壤分析さらには土壤の浄化に至るまで、ワンストップで対応しています。



自律的な化学物質管理の導入・維持支援

労働衛生事業

労働安全衛生法改正で、化学物質管理において事業者主体の取り組みが求められるようになりました。具体的には、ラベルやSDS(安全データシート)の伝達やリスクアセスメントの実施です。これらの導入と維持において、当社の労働衛生コンサルタントが支援を行います。





■会社概要

設立	1945(昭和20)年9月28日
本社	大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
資本金	66億7,600万円

■事業所

本社・大阪工場	〒578-8585 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号 本社 TEL.06-6721-3331(代表) 大阪工場 TEL.06-6721-3337
タツタ テクニカルセンター	〒619-0216 京都府木津川市州見台6丁目5番1号 テクニカルセンタービル TEL.0774-66-5550 機能性フィルム工場 TEL.0774-66-5552
京都工場	〒620-0853 京都府福知山市長田野町3丁目17番地 TEL.0773-27-3331
仙台工場	〒981-3629 宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ2番1 TEL.022-346-1126

タツタ電線株式会社

TATSUTA Electric Wire and Cable Co., Ltd.

■支店

東京支店	〒160-0007 東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産四谷ビル6F TEL.03-6709-9644
------	---

■関係会社

中国電線工業株式会社
タツタ立井電線株式会社
株式会社タツタ環境分析センター
タツタ ウエルフェアサービス株式会社
常州拓自達恰依納電線有限公司
上海拓自達商貿有限公司
上海拓自達商貿有限公司 蘇州テクニカルセンター
TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD.
TATSUTA USA, Inc.

主要拠点等



本社・大阪工場

電力ケーブル等を生産する工場に本社機能を備えたタツタ電線の原点
■生産品目
各種電線、動力・制御ケーブル、光ケーブル



タツタテクニカルセンター

研究開発の核となる「Research Laboratory」と生産機能を備える、当社電子材料事業の中核
■生産品目
電磁波シールドフィルム、導電性ポンディングフィルム、機能性ペースト、漏水検知システム、光部品、医療機器部材



京都工場

電子材料・システム製品を生産する、タツタ電線のモノづくりを支える主力工場
■生産品目
電磁波シールドフィルム、導電性ポンディングフィルム、機能性ペースト、漏水検知システム、光部品、医療機器部材



仙台工場

機能性フィルムの量産体制を強化し、世界に向けて安定供給を実現
■生産品目
電磁波シールドフィルム、導電性ポンディングフィルム



中国電線工業株式会社

世界各地で使用できるグローバルスタンダードケーブルを始め幅広い製品を提供
■生産品目
機器用電線



タツタ立井電線株式会社

一貫生産体制・優れた生産技術・品質管理体制を活かし、お客様のニーズにカスタム対応
■生産品目
機器用電線



常州拓自達恰依納電線有限公司

タツタ電線グループ初の海外拠点として、中国江蘇省常州市にて中国国内のお客様を中心に幅広い製品を提供
■生産品目
機器用電線



上海拓自達商貿有限公司

タツタ電線グループ初の海外拠点として、中国江蘇省常州市にて中国国内のお客様を中心に幅広い製品を提供
■生産品目
機器用電線



TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD.

アジアを中心海外向けポンディングワイヤを製造・販売
■生産品目
ポンディングワイヤ



TATSUTA USA, Inc.

シリコンバレーにてイノベーションをキャッチアップする拠点として、タツタ電線のグローバル展開を支えています
■生産品目
ポンディングワイヤ

沿革

1945年	設立	2003年	電磁波シールドフィルム自社生産開始
1947年	電線製造・販売開始(創業)	2011年	常州拓自達恰依納電線有限公司(中国)設立
1950年	タツタパルプ株式会社(現 中国電線工業株式会社)設立	2012年	TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD.(マレーシア)設立
1953年	若江工場(現 大阪工場)完成	2013年	タツタテクニカルセンター完成
1954年	大阪証券取引所上場	2014年	大阪証券取引所上場廃止(東京証券取引所への現物市場統合)
1955年	通信ケーブル製造・販売開始	2015年	立井電線株式会社株式取得
1961年	東京証券取引所上場		TATSUTA USA, Inc.(米国)設立
1975年	株式会社スリーティー・サービス(現 タツタウェルフェアサービス株式会社)設立		システム・エレクトロニクス事業本部にて医療機器分野のISO13485認証取得
1976年	福知山工場(現 京都工場)完成		仙台工場完成
1979年	株式会社タツタ電線分析センター(現 株式会社タツタ環境分析センター)設立	2016年	上海拓自達商貿有限公司(中国)設立
1981年	漏水検知システム製造・販売開始		機能性フィルム事業にてISO22301(事業継続マネジメントシステム)認証取得
1984年	ポンディングワイヤ製造・販売開始		第三種医療機器製造販売業許可を取得
1987年	ポリマー型銅導電ペースト製造・販売開始	2019年	「高力銅合金」を使用した機器用電線関連製品の製造販売事業を完全子会社の立井電線株式会社に移管
1989年	高力銅合金線(PA等向け)製造・販売開始		立井電線株式会社の商号をタツタ立井電線株式会社に変更
1996年	通信事業部ISO9001認証取得	2022年	完全子会社のタツタ立井電線株式会社および中国電線工業株式会社の原材料調達機能および営業・販売機能をタツタ電線株式会社に移管
1997年	光ファイバープラグの製造・販売開始		JX金属株式会社による当社普通株式に対する公開買付けが成立し、JX金属株式会社の子会社となる
1998年	電線事業部ISO9001認証取得		
1999年	通信事業部ISO14001認証取得		
2000年	電磁波シールドフィルム販売開始		
2001年	光部品事業部ISO9001認証取得		
2002年	大阪地区ISO14001認証取得		
	建設・電販向け電線販売事業を行う		
	住電日立ケーブル株式会社(現 住電HSTケーブル株式会社)設立に参画		

タツタ電線株式会社

TATSUTA Electric Wire and Cable Co., Ltd.

本書の記載内容は
2025年4月現在のものです。